

▼オンパットロ点滴静注 [注]

- 【重要度】 【一般製剤名】パチシランナトリウム Patisiran Sodium 【分類】トランスサイレチン型アミロイドーシス治療薬 [低分子干渉 RNA 製剤]
- 【単位】▼10mg/V [5mL] (2mg/mL) 0.2μm フィルターを通すため、1V あたり 4.4mL (8.8mg) が採取可能
- 【常用量】0.3mg/kg を 3 週に 1 回
- 体重 104kg 以上なら 1 回 31.2mg
- 【用法】3 週に 1 回投与。生食で希釈し総液量 200mL として 70 分間以上かけて点滴静注 (投与開始後 15 分間は約 1mL/分、その後は約 3mL/分)
- Infusion Reaction に対応する前処置を行う
- 【透析患者への投与方法】常用量 (1)
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量 (1)
- 【特徴】トランスサイレチンを合成する RNA を分解する低分子干渉 RNA (siRNA) 薬
- 【主な副作用・毒性】Infusion reaction, 房室ブロック, 消化器症状, 末梢性浮腫, 疲労, 聴力低下, 眼障害, 肝酵素上昇, 筋障害など多数
- 【安全性に関する情報】レチノール結合タンパク質及びビタミン A が減少するため補充 (1) 作用機序から血清中サイロキシン減少 (1)
- 【F】
- 【tmax】
- 【代謝】ヌクレアーゼで加水分解 (1)
- 【排泄】尿中排泄率 1%未満 (1)
- 【CL】3.0±2.5mL/hr/kg (1)
- 【t1/2】50～75hr (1)
- 【蛋白結合率】2.1%以下 (1)
- 【Vd】Vss=0.255±0.198L/kg (1) 【分布】BBB を通過しない (1)
- 【MW】14303.58
- 【透析性】資料なし (1) 分子量からみると除去率は高くないと思われる (5)
- 【O/W 係数】
- 【主な臨床報告】タファミジスからの切り替え治療で多発神経機能が改善 (Labeyrie C, et al: Eur J Neurol 2024 PMID: 38988097)
- 【備考】DEHP フリーの輸液セット使用
- 【更新日】20240912

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。